

# 東日本大震災から10年…

## 朝鮮新報に記事が掲載されました

先日の「週刊トンネ」で新報社の記者が取材に来たと伝えましたが、3月15日付日本語版に「ルポー被災地に行く」と題した連載記事に福島県が紹介されました。

記事では被災した浜通の同胞が紹介され当時の生々しい状況を語り、同じ市内の身内宅に避難したもののライフラインが止まった状態で途方にくれていたところ「ハッキョにおいてください」と誘われ、ハッキョで避難してきた同胞、日本人たちと共同生活をしたことを語りました。

浜通、中通、会津の各支部委員長も10年前の震災を振り返り「(本部の呼びかけに応じて)支援物資が支部会館にいっぱい集まった。他県からもたくさんの支援が集まったと聞いて同胞の力は改めてすごいなと実感した」(会津支部副委員長)、「この地に生きる当事者として、支援のありがたみを知る人間として、立ち止まっていられない」(中通支部委員長)、「震災の時も大変だったけれど、今のコロナは本当に厄介。大変な時だからこそ10年前の経験が無駄にしてはいけない。今こそ震災の試練を力に変えていかないと」(浜通支部委員長)と語りました。

教育会会長も10年間ハッキョの放射線量を記録してきたこと、放射線汚染を避けて福島の学生たちを新潟ハッキョに送っていったことなどを語りました。

記事は同様の内容で朝鮮語版にも掲載されることになっています。新報購読者の方はぜひご覧ください。

新報をとっていない方は「デジタルシンボ」に登録してネットからご覧ください。

\*「デジタルシンボ」の登録は、新報購読者は無料、購読していない方は有料になります。

## 東日本大震災10周年東北同胞たちのつどい

3月11日に仙台市の東北ハッキョ講堂で「東日本大震災10周年東北同胞たちのつどい」が行われました。

コロナ感染予防のため東北各県と茨城県から人数を制限して代表が参加しました。

参加者たちは悪夢のような震災直後、祖国から多額の慰問金が送られ、各地の総聯組織、同胞たちから支援物資が送られてきたことを振り返り、どのような困難も同胞たちが力を合わせ団結すれば乗り越えられることを実感した、今後も被災地域の総聯活動を一層盛り上げていこうと決意を新たにしました。

つどいでは震災当時のことを再編集したDVD、新潟と兵庫からのビデオメッセージ、10年前から自作の歌で被災地を応援してきたトンムたちの動画などが上映されました。

### 今週のおすすめ

#### 朝鮮大学校舞踊部発表会

毎年行われてきた朝鮮大学校舞踊部の発表会が今年もオンラインで行われました。3月11日から2週間の間どなたでも見ることができます。ぜひご覧ください。

YouTubeから「第31回朝鮮大学校舞踊部発表会」で検索してください。

### 今週の放射線量

(ハッキョ自動測定器)

8日(月)	0.084
9日(火)	0.077
10日(水)	0.084
11日(木)	0.079
12日(金)	0.082
13日(土)	0.086
14日(日)	0.090